

質問 観光振興の展望について

答弁 機運が高まれば町として協力します

えぐちともこ
江口智子 議員

閉鎖に至った時点の課題
が解決されていない状況で
の復活は難しいですが、ラ
ンチウェイを含むロングト
レイルの造成など新たな団
体等で機運が醸成されるの
であれば、町としても協力
します。

本年、登山愛好家により
結成された、南知床山岳会
の方々が、標津岳の登山道
に続き、令和2年に閉鎖と
なった北根室ランチウェイ
の保全についても協力を検
討しているとのことです。
四季を通じた活用のでき
る観光資源として、その価
値を再考すべきときではな
いでしょうか。

質問



町長答弁

当町に赴任する地域おこ
し協力隊員は、三大都市圏
内都市地域（東京、大阪な
どの大都市圏）という要件
のため、これまで乗用車
所有者は少數であつたこと
から、柔軟な運用を検討で
きると考えています。

車を所有しない地域おこ
し協力隊が着任した場合、
ガソリン代を負担する」と
で、公用車の私的使用を認
めている近隣町もあります。
観光業務に支障をきたす
ことのないよう、当町でも
検討すべきではないでしょ
うか。

質問

ロングトレイルの人気につ
いては理解しています
が、現状では協力する程度
と考えています。

町に根付いた歩く文化を
継承する考えと、町はいち
協力者ではなく主体的な関
わりをする考えはあります
か。

再質問

町長答弁

5

質問 町内会加入率全道ワースト1に対する行政側認識との隔たり

答弁 町内会加入に強制力はないが必要性を訴えています

たかはしよしだ
高橋善貞 議員

「北海道内の町内会加入率」
の記事で、中標津町は加入
率41.8%で全道ワースト
1位であることがわかりま
した。

読売新聞オンラインでは
「町内会加入率、自治体で
差、北海道最低は中標津町」
の大見出しで全国配信され
ています。

最下位の加入率は201
9年全道調査値であり、5
年前から行政側が公表しな
かつたことも危機感がない
原因の一つだと思います。

1点目の質問は、担当者
が読売新聞の取材に対し
「最下位は認識している、
このままでは限界がくる」と
答えていたが、町内会が
機能しない加入率とは何%
なのでしょうか。

町長は報道されるまで最
下位を知らなかつたので
しょうか。

3点目の年次計画等につ
いては、それぞれの立場で
できる)を取り組み、連
携する)ことで課題解決を図
ります。

質問



町長答弁

町内会に依存してきたこと、今後も依存すること等を整理し、町内会の必要性を検討すべきではないでしょうか。

3点目の質問は、数値目標をもつた年次計画を策定し、行政・議会・全町連などが連携して「加入率50%に戻す」を目指に努力すべきではないでしょうか。

町長答弁

7